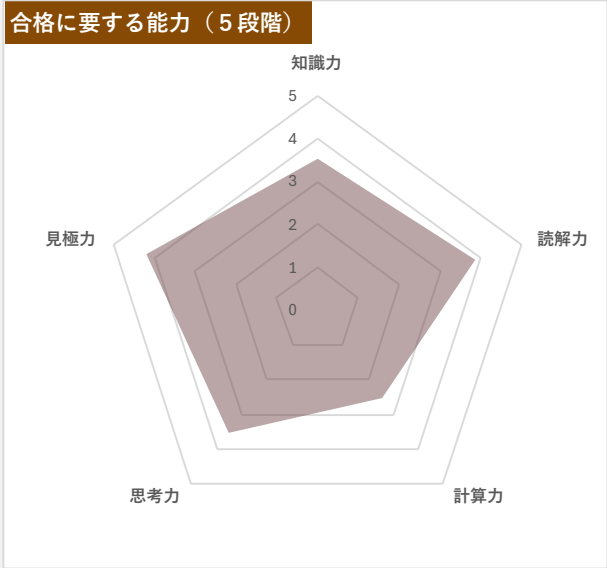


総合分析

試験区分	一般		
制限時間	60分 (理科 2 科120分)	大問数	全 3 問

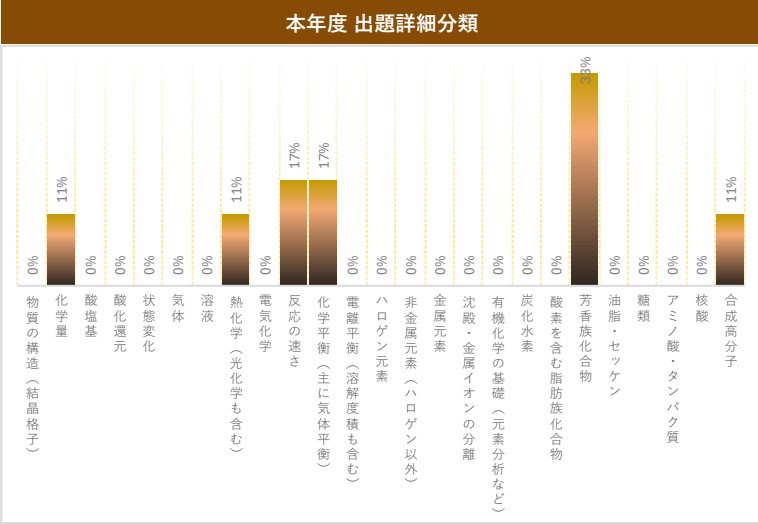


合格に要する能力（5段階）		
知識力	3.3	物質，反応，解法の知識
読解力	3.7	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	2.3	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.3	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	4.0	解きやすい問題を選択する力

出題分野	
理論	56%
無機	0%
有機	44%

本年度 解答形式
答えのみ記述 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	小問集合
第 2 問	併発反応の反応速度
第 3 問	芳香族化合物の構造決定



特殊問題の有無	数値計算あり	グラフなし	正誤問題なし	理由記述なし	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項	化学反応の熱力学的支配と速度論的支配が出題された。
------	---------------------------

総合評価					
難度	3.2	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	70%
分量	50分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや少ない	標準	

入試の特徴と対策	強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。
入試から見る大学が求める学生像	大問 2 は、大学院入試でも出題される内容を、受験生でも解けるように誘導をかけた良問で、読解力によって差がついたと思われる。したがって、暗記や典型論点だけでなく、初見の問題でも取り組める、思考力と読解力を持つ生徒を求めていると考えられる。